

正しく性と向き合い生命の尊さを学ぶ 美瑛高校で性に関する講話

美瑛高校で7月20日、高校生としてふさわしい恋愛の在り方や、性に関する知識の大切さを考えることを目的とした、性に関する講話が同校体育館で開かれた。全校生徒を対象としたもので、旭川医科大学産婦人科学講座の加藤育民教授が講師を務め「自分の心と身体を見つめなおす―性と性について」と題し講義。「性感染症の被害と子宮頸がん

で亡くなる人を上川管内からなくすることが目標」

とする加藤教授は、高校生の生活と性の問題を取り上げる中で、妊娠のメカニズムを分かりやすく説明。「自分だけの問題ではなく、相手にも、これから生まれてくる命にも影響を与えること。正しい知識を持ち、現在の生活を基本に考えなければいけない」と呼びかけた。また、現在の社会情勢を踏まえ「性の多様性」にもふれ、

や悩んだ時の相談の仕方も伝えた。

聴講した生徒からは「望まない妊娠がある中、母のお腹から産まれ生きていることが幸せと感じた。これからは誕生日に、母に感謝しようと思った」、「性を守ることとは生を守ることなんだと知ることができた」など、今回の講話を有意義に受け止めている声が聞かれた。美瑛高校では様々な独自のカリキュラムを通し「今後も生徒自らが、主体的によりよい社会の作り手となる資質の

内容・写真、美瑛高校提供

